

市長定例記者会見報告事項概要

令和5年7月25日(火) 午前10時00分～

1. わくわく防災体験ツアーについて

- 今年は、関東大震災から100年の節目の年である。
- 「過去の災害を忘れない」ことは、防災にとって非常に大切なことである。本市で発生した、平成21年豪雨災害の記憶を風化させることなく、これからの防災に生かしていくことが重要である。
- このたび、8月19日(土)から27日(日)までの期間に、青少年科学館ソラールを会場に、「防災体験ツアー」を開催する。
- この催しは、防府市が過去に経験した災害等を紹介する展示や、VR映像による大雨体験、雨量計・風速計を見たり触ったりできるコーナーなど、様々な角度から防災を学び、体験できる内容としている。
- 25日(金)からは、新学期が始まる。夏休み最後の思い出をソラールで作っていただきたいということから、期間中は、ソラールの入館料を無料とする。子どもから大人まで、多くの方々に足を運んでいただき、防災の意識をしっかりと高めていただきたいと思っている。

2. 子ども文化祭について

- 本市では、子どもたちが地域の方々と伝統芸能等の伝承活動を頑張っており、地域の文化が受け継がれている。
- このたび、伝統芸能等に携わっている子どもたちの発表・交流の場をつくるとともに、それを通じて、子どもたちの文化意識の向上や文化芸術活動の促進を図ることを目的に、今年初めて、「子ども文化祭」を、8月19日(土)、三友サルビアホールで開催する。

- 当日は、「神楽舞 紅わらべ」や、「春日鬼太鼓」など、市内5団体が出演し、姉妹都市である広島県安芸高田市から「郡山子ども神楽団」をお招きする。
- 安芸高田の神楽については、昨年も「吉田神楽団」による公演があり、大好評であった。安芸高田市の石丸市長とお話させていただいた結果、「来年は是非子どもたちを」ということになり、このたびの出演が決定した。
- 今年は、毛利元就公の郡山入城500年の記念の年である。安芸高田市との交流を末永く続けていきたいと考えている。
- 今回は初開催であるため、日程調整が難しかった面もあり、参加団体が少ないが、来年以降は、より多くの子どもたちに出演していただき、さらに盛り上げてまいりたいと思っている。
- なお、当日は、イベントスタッフとして、防府市教育“夢”プロジェクト、「ほうふみらい塾」の児童生徒が、受付や進行を行う。
- 子どもがつくる、子どもが主役の文化祭としたい。多くの市民の皆様、頑張る子どもたちの姿をご覧いただきたいと思う。

3. 防府おどり・防府天満宮御誕辰祭について

- いよいよ今週末29日(土)に、笑顔満開通り周辺で「防府おどり」が開催される。今年は、4年ぶりにマスクなしでの開催で、規模も昨年から倍増となる、19団体800人の出演があると伺っている。
- また、例年通り、8月3日(木)から3日間は、防府天満宮御誕辰祭が開催され、大石段には、ろうそくの光の帯「万灯の夕べ」が夏の夜を灯す。
- 5日(土)には、防府天満宮で恒例の花火大会が行われる。
- 「情報ほうふ」8月号の表紙のように、「もどってきた」防府の夏を皆さんと楽しみたいと思っている。